第3章 松原遺跡確認調查

第1節 事業の経過

平成23年10月、浜田市三隅支所建設課から浜田市教育委員会に対して、市道松原2号線道路新設工事に関する文化財等の有無及び取扱いについて協議書の提出があった。該当地には周知の埋蔵文化財包蔵地である松原遺跡が所在しており、同年11月の分布調査においても、土器片が表採されるなど遺跡の存在が確認され、三隅支所建設課に対して遺跡の取り扱いについて引き続き協議が必要である旨の回答を行った。

以後、三隅支所建設課と適宜協議を行い、平成25年6・7月に確認調査を実施するに至った。 調査面積は20㎡ (2m×1m 10地点)、調査期間は平成25年6月24日~7月22日である。

第2節 調査の概要

松原遺跡は浜田市三隅町岡見に所在し、日本海に注ぐ岡見川河口部右岸に立地する。県道益田種 三隅線に沿って展開する松原集落南の畑地にあたり、岡見川の古流路によるが、当時の立地として は後背湿地か自然堤防上が考えられる。

調査は市道松原2号線計画路線上に2m×1mの調査区を10地点設定した。

トレンチ1 (路線最两 休耕田)

地表面の標高1.98m。表土下約15cmから水田面である暗青灰色粘質土が堆積し、以下色調を変えつつ粘性が強くなる。明黄褐色粘質土(4層)はマンガン粒子が混入するグライ層。地表下1.05mから7cm程度暗黄褐色砂(6層)が貫入し、以下は黒色粘質土(7層)で有機物が混入する。遺物は須恵器等の小破片が10点出土し、遺構は検出されなかった。

トレンチ2~4・8~10 (路線西側から中央部 畑地)

各トレンチはおおまかに表土下に、小礫混褐色土、黒色砂、黄褐色砂の順に堆積する。

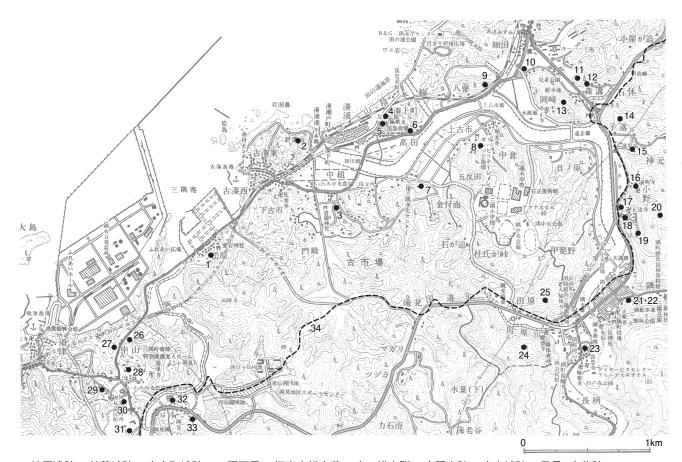
トレンチ4及びトレンチ8の黒色砂からは複合口縁で体部内面ケズリ調整の古墳時代前期の土師器等が一定量出土したため、その後本調査を実施した。なお、遺構は確認されなかった。

トレンチ5~7 (路線東側 畑地)

各トレンチはおおまかに表土下に、小礫混褐色土、小礫混暗褐色土、黒色砂、黄褐色砂の順に堆積する。遺物が主に出土するのは小礫混褐色土及び小礫混暗褐色土からであるが、プライマリーな層ではなく、2次堆積層と考えられる。遺構は検出されなかった。

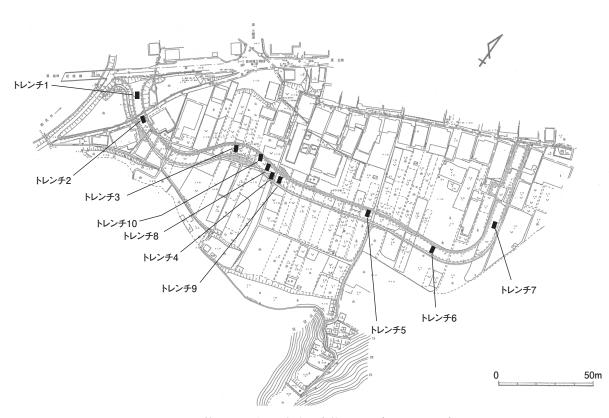
表 6 出土遺物点数表

	縄文土器弥生土		上 古墳前期		須恵器	中世		近現代			石器	その他	合計
		5小生工品	土師器	土師器	須芯品	土師器	陶器	磁器	陶器	石見焼(瓦)	口谷	不明	- H E H
Т1				3	3	1		1	1	1			10
Т2								1					1
Т3				3		2	1						6
T 4		7	34					1					42
Т5		1		1		2		3	1				8
Т6		2	2			4		2					10
T 7		2			1	4		1	1				9
Т8	1	2	17	1		4			4			2	31
Т9	4		1	1				3	4		1	2	16
T10	3			1	1	4		1					10
合計	8	14	54	10	5	21	1	13	11	1	1	4	143



1.松原遺跡 2.針藻城跡 3.小金町城跡 4.三隅石塁 5.極楽寺横古墓 6.高田横穴群 7.安穏寺跡 8.古市城跡 9.風呂ノ木砦跡 10.成田郷三角田記念碑 11.海石遺跡 12.刈立横穴 13.梅ヶ城跡 14.石田城跡 15.小野古墳 16.洞明寺古墓群 17.伝三隅悪五郎墓 18.伝三隅兼連墓 19.正法寺奥の院 20.鐘尾城跡 21.廓英法師墓 22.廓英法師墓周辺古墓 23.青竜城跡 24.陣ノ尾砦跡 25.城ヶ迫砦跡 26.斎藤窯跡 27.山岡窯跡 28.岡見中学校脇遺跡 29.森井窯跡 30.次郎丸砦跡 31.中山鈩跡 32.郷遺跡 33.たかのだん遺跡 34.山陰道

第11図 松原遺跡の位置と周辺の遺跡 (S=1/30,000)



第12図 松原遺跡調査位置 (S=1/2,000)

第3節 出土遺物 (第14 図)

1はトレンチ1表土から出土の須恵器甕の体部片。外面は格子タタキ、内面は同心円文が残る。

2~4はトレンチ4の黒色砂出土の古墳時代前期の土師器。2・3は口縁部が内湾する布留系の 甕で、胎土は赤褐色を呈する。4は複合口縁の小壺である。胎土は白色系で長石を含む。

5はトレンチ5暗褐色砂から出土の土師器の高坏片。

6はトレンチ6小礫混褐色土から出土の土師器杯。復元口径12.3cm、復元底径6.2cm、器高5.35cm を測る。全体的に摩耗が著しい。

7はトレンチ7小礫混褐色土から出土の須恵器の長頸壺。

8・9はトレンチ8出土。8は弥生前期の壺で、頸部を横ミガキにより作出している。9は古墳前期の土師器甕体部片。外面上部は横ハケ、下半部は縦ハケ調整、内面はケズリ調整である。胎土は赤褐色を呈する。黒色砂から出土している。

10・11はトレンチ9出土。10は古墳時代前期の甕。口縁端部に平坦面を持つ。胎土は白色系で長石を含む。小礫混褐色土から出土。11は石錘。重量は134g。排土からの出土である。

12はトレンチ10黒色砂から出土の土師器皿か。底部は強いナデにより上げ底状となっており、切り離しの痕跡は不明確である。復元底径は5.7cmを測る。

第4節 総括

遺物包含層である黒色砂はトレンチ4を中心に確認され、トレンチ4で50~70cm、トレンチ8~10では35~50cm程度を測る。この中でも遺物が一定量出土するのは、トレンチ4・8であり、南北方向に遺物の分布が確認できた。このため、トレンチ4・8を中心とする区域の発掘調査が必要と判断された。

古墳時代前期の遺物を含む黒色砂からは植物の腐食痕などは確認されなかったが、いわゆる「クロスナ層」と考えられる。同じ日本海に面する江津市の波子遺跡のクロスナ層からも、古墳時代前期の土器の出土が見られる。当該期には全国的な砂丘の安定期があったとされ、今回の調査においてもそれを追認する結果が見られた。

【参考文献】

井関弘太郎1975「砂丘形成期分類のためのインデックス」『第四紀研究』第14巻第4号

遠藤邦彦1969「日本における沖積世の砂丘の形成について」『地理学評論』42-3

江津市教育委員会·浜田市教育員会1988『大平山遺跡群調査報告書』

島根県教育委員会1980『中国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』

島根県教育委員会2010 『久城東遺跡·若葉台遺跡·久城西 I 遺跡·久城西 II 遺跡·原浜遺跡』

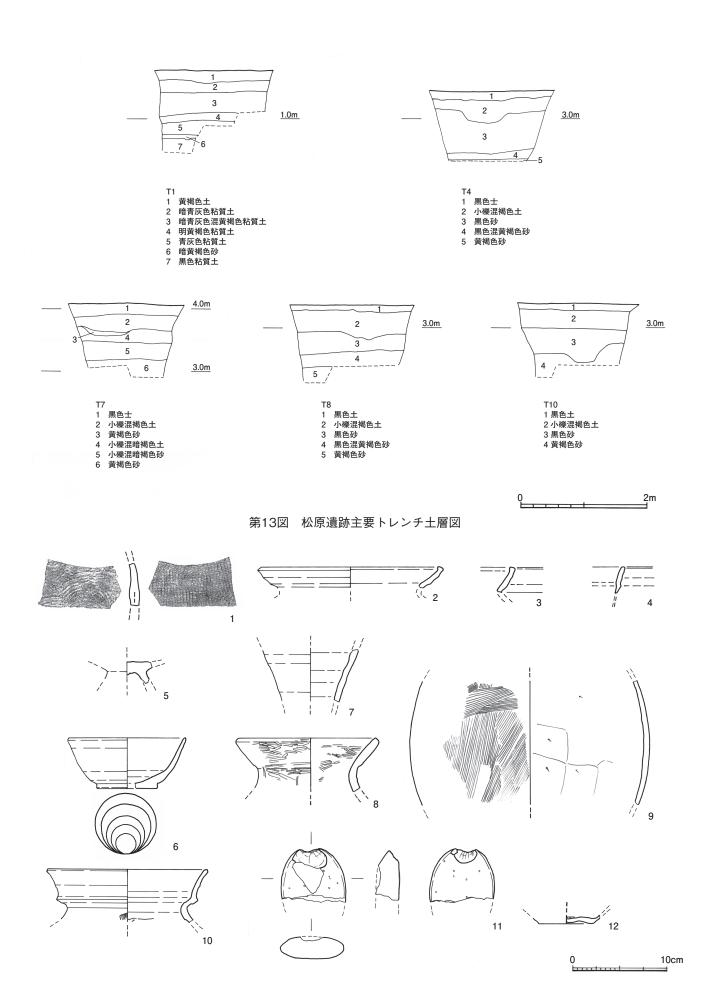
島根県教育委員会2011『堂ノ上遺跡』

浜田市教育委員会·江津市教育委員会1989『大平山遺跡群発掘調査概報』

浜田市教育委員会2011『島根県浜田市遺跡地図Ⅲ (三隅自治区)・史跡 石見国分寺跡』

浜田市教育委員会2014『松原遺跡』

松山智弘2000「小谷式再検討-出雲平野における新資料から-」『島根考古学会誌』第17集



第14図 松原遺跡遺物実測図



調査地遠景(路線中央部 南東より)



作業風景



トレンチ 1 完掘状況



トレンチ4完掘状況



トレンチ7完掘状況



トレンチ10完掘状況



松原遺跡出土遺物 1



松原遺跡出土遺物2

報告書抄録

			S		2. 123	2.3- 22 2	,	<u> </u>			
ふりがな へいせいにじゅうろくねんど はまだし						いせきはっくこ)ちょ	うさほうこくしょ			
書名	平成26年	平成26年度 浜田市内遺跡発掘調査報告書									
副 書 名 県指定史跡 浜田城跡・松原遺跡											
巻 次											
シリーズ名											
シリーズ番号											
編著者名	藤田大輔	藤田大輔									
編集機関	島根県浜	島根県浜田市教育委員会									
所 在 地	₹697-850	〒697-8501 島根県浜田市殿町1番地 Tel 0855-25-9731 bunka@city.hamada.shimane.jp									
発行年月日	2015年3	月									
> h .18+	> 10.15.7	コード					田子	5-			
ふりがな 所有遺跡名	ふりがな 所在地	市町村	遺跡番号		東経°′″	調査期間	調査面積				
浜田 城 跡	は県し市は県し市の場所	32202	L27	34°54′11″	132°04′24″			石垣調査のため			
まつばらいせき 松原遺跡	しまれた 島は浜田 本根だ田 本 本 で 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	32202	073	34°46′46″	131°55′42″	20130624 ~ 20130722	20 n	市道松原2号線 d 道路新設工事に よる			
所収遺跡名	種別	主なほ		主な遺構	主な遺物			特記事項			
浜田城跡	城跡 城跡 江戸時代 石垣		石垣				石垣調査を実施				
松原遺跡	集落	古墳印	 侍代		縄文土器・弥生土器・土師器 古墳前期の土 一定量出土。						
要 約 県指定史跡 浜田城跡に関しては、近世の石垣修理絵図に比定できる64面の石垣調査を実施した。 松原遺跡に関しては市道松原2号線新設に伴い確認調査を実施した。遺構は確認されなかったが、遺物包含層である黒色砂からは古墳時代前期の土器が一定量出土した。この黒色砂層は「クロスナ層」と推定され、出土遺物の時期から見ても、全国的な砂丘の安定期に形成されていたものである。								た。遺構は確認さ :器が一定量出土し			

平成26年度 浜田市内遺跡発掘調査報告書

発行 島根県浜田市教育委員会 2015年3月 島根県浜田市殿町1番地

印刷柏村印刷株式会社